

教えて！ 情報モラル

【情報モラル基礎編】



岐阜県教育委員会 教育研修課

情報モラルを指導するには、指導者が情報モラルの範囲や内容、またその目的を的確に理解し、発達段階に応じた系統的な指導内容や具体的な指導方法、授業設計など、基本的な理念や理論について深く理解している必要があります。

【情報モラルって何？】

情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度

(高等学校学習指導要領解説情報編 平成12年3月にて定義され、現在でも使われている。)



「モラル」という言葉から、道徳・心というものを思い浮かべるが、倫理的な態度に加えて、情報安全の考え方等も含まれている。

【学習指導要領における情報モラル】

学習指導要領の「本文」や「解説」には、「教育の情報化」や「情報モラル」についても積極的に取り上げられている。

小学校総則の本文 第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項

- (9) 各教科等の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身に付け、適切に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

中学校総則の本文 第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項

- (10) 各教科等の指導に当たっては、生徒が情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

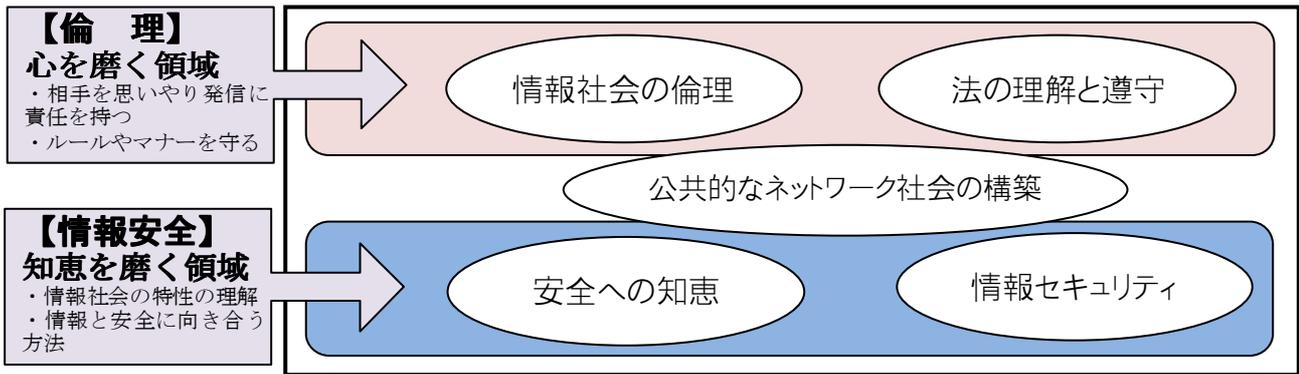
高等学校総則の本文 第5 教育課程の実施等に当たって配慮すべき事項

- (10) 各教科・科目等の指導に当たっては、生徒が情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ実践的、主体的に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。



「総則に記載」・・・学校におけるすべての教育活動で情報モラルを指導しなければならない。各学校において、すべての児童・生徒が卒業までに情報モラルの習得を完了すべきということ。小学校は、まず「慣れ親しむ」、そして「情報モラル」、中学校・高等学校は、まず「情報モラル」その上で「活用」という記述になっていることに着目したい。

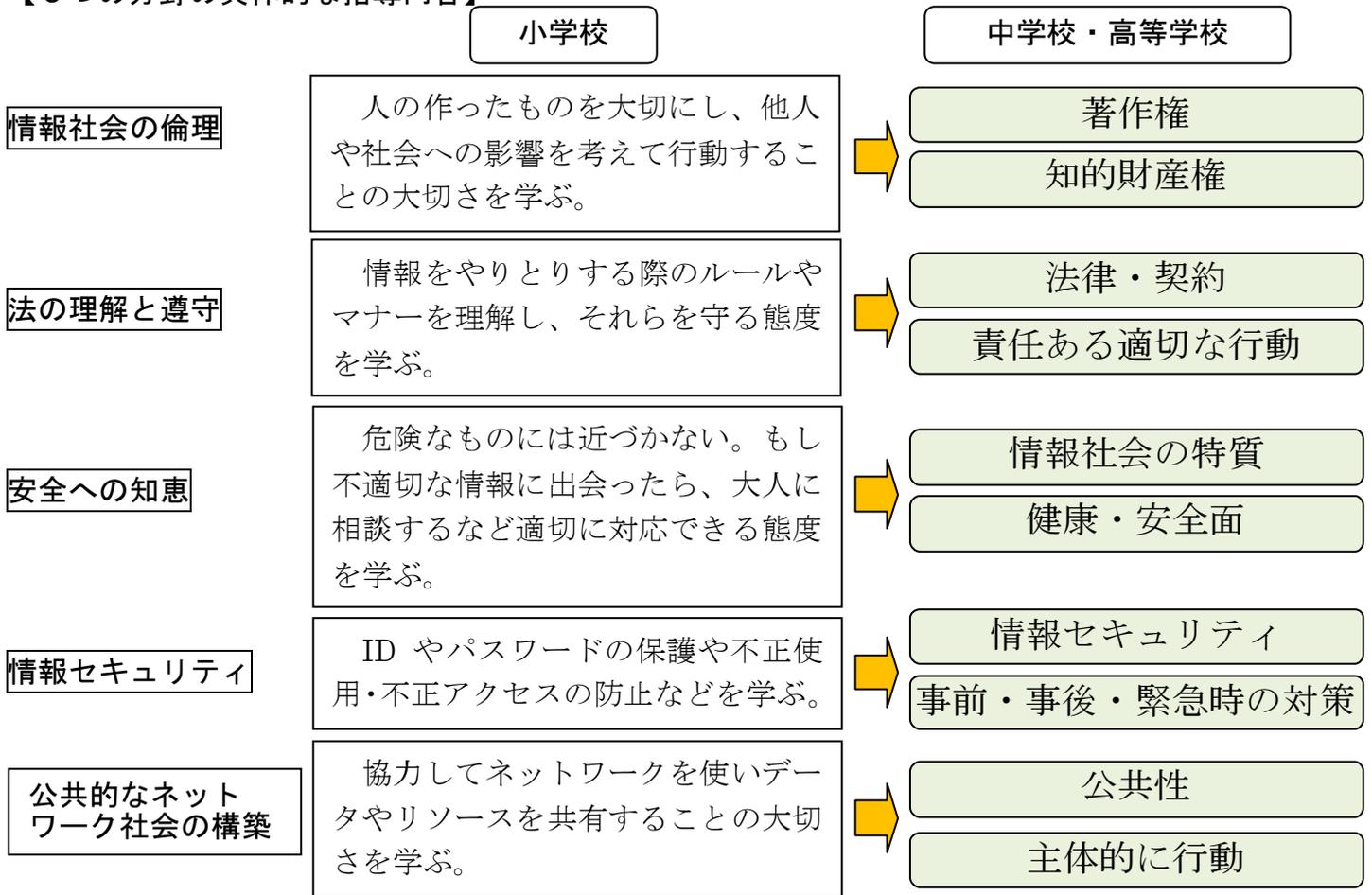
【情報モラルの内容と目的 情報モラル指導モデムカリキュラムの2つの領域・5つの分野】



(参照:情報モラル指導モデムカリキュラム表 文部科学省委託事業 平成18年度)

👉 「心を磨く」領域と「知恵を磨く」領域がある。「知識」ではなく「知恵」という表現に着目したい。見聞きして得るのが「知識」、経験を通して培っていくのが「知恵」。児童生徒は、携帯電話やネットに対する知識はあっても、正しく適正に活用する「実践につながる知恵」は欠けている場合が多い。児童生徒が考える場が位置づけられた学習を通して「知恵」を磨きたい。

【5つの分野の具体的な指導内容】



👉 児童生徒の発達段階に応じて、系統的に指導を行う。正義感が芽生え、善悪への意識が高まる小学校の低・中学年では、「心を磨く」領域に、また、情報社会の認識やセキュリティ対策などの知的な興味や関心が高まる中学校や高等学校では「知恵を磨く」領域に重点をおく。ネットや携帯電話によるトラブルを予防的に回避するためには、早い段階からの指導が必要である。多くの児童生徒が携帯電話をもってから指導を始めていては手遅れである。